

事業計画書

令和4年度

社会福祉法人 健老会
特別養護老人ホーム 錦海荘

— 目 次 —

1. 社会福祉法人 健老会 理念
2. 特別養護老人ホーム 錦海荘 基本方針
3. 令和4年度 重点目標
4. 組織
5. 各部署の取り組み
6. 行事・クラブ活動
7. 委員会年間計画
8. 研修年間計画

1. 社会福祉法人 健老会 理念

1-1) 法人基本理念

地域の社会福祉法人として、高齢者福祉活動を通じて地域の福祉文化の向上と発展に貢献し、共に栄えることを基本理念とする。

1-2) 仕事の五大目標

- ① 誠心・誠意のある仕事
- ② 信頼される仕事
- ③ 責任ある仕事
- ④ 感動を創出する仕事
- ⑤ 公明正大な仕事

2. 特別養護老人ホーム 錦海荘 基本方針

「愛と敬意」

私たちは、ご利用者様とスタッフに対し、思いやりと尊敬の気持ちで奉仕いたします。

「調和」

私たちは、ご利用者様とスタッフの『個』を尊重するとともに、調和と秩序ある『集団』として、一体感で法人を支えます。

「社会貢献」

スタッフと家族の安定的な生活や幸せ、法人の発展を通して、社会貢献いたします。

【接遇指針】

バイスティックの7原則

1. 個別化(かけがえのない個人として受けとめ尊重する)
2. 意図的な感情表現(ご利用者様の自由な感情表現を大切にする)
3. 統制された情緒的関与(自分の感情を自覚して調整する)
4. 受容(ご利用者様をありのままに受け入れる)
5. 非審判的態度(ご利用者様の選択を善悪で判断せず、非難しない)
6. 自己決定(ご利用者様の意思に基づく自己決定を促して尊重する)
7. 秘密保持(秘密やプライバシーを保持して信頼感を醸成する)

3. 令和4年度 重点目標

① 各専門職の専門性と責任感をもった「チームケアの実現」

組織で起こる問題は、一部署、一個人の責任ではなく、組織全体の責任です。スタッフ一人ひとりが責任を自覚し、主体者として課題に取り組み、各専門職の専門性を発揮するチームケアの実現を目指します。

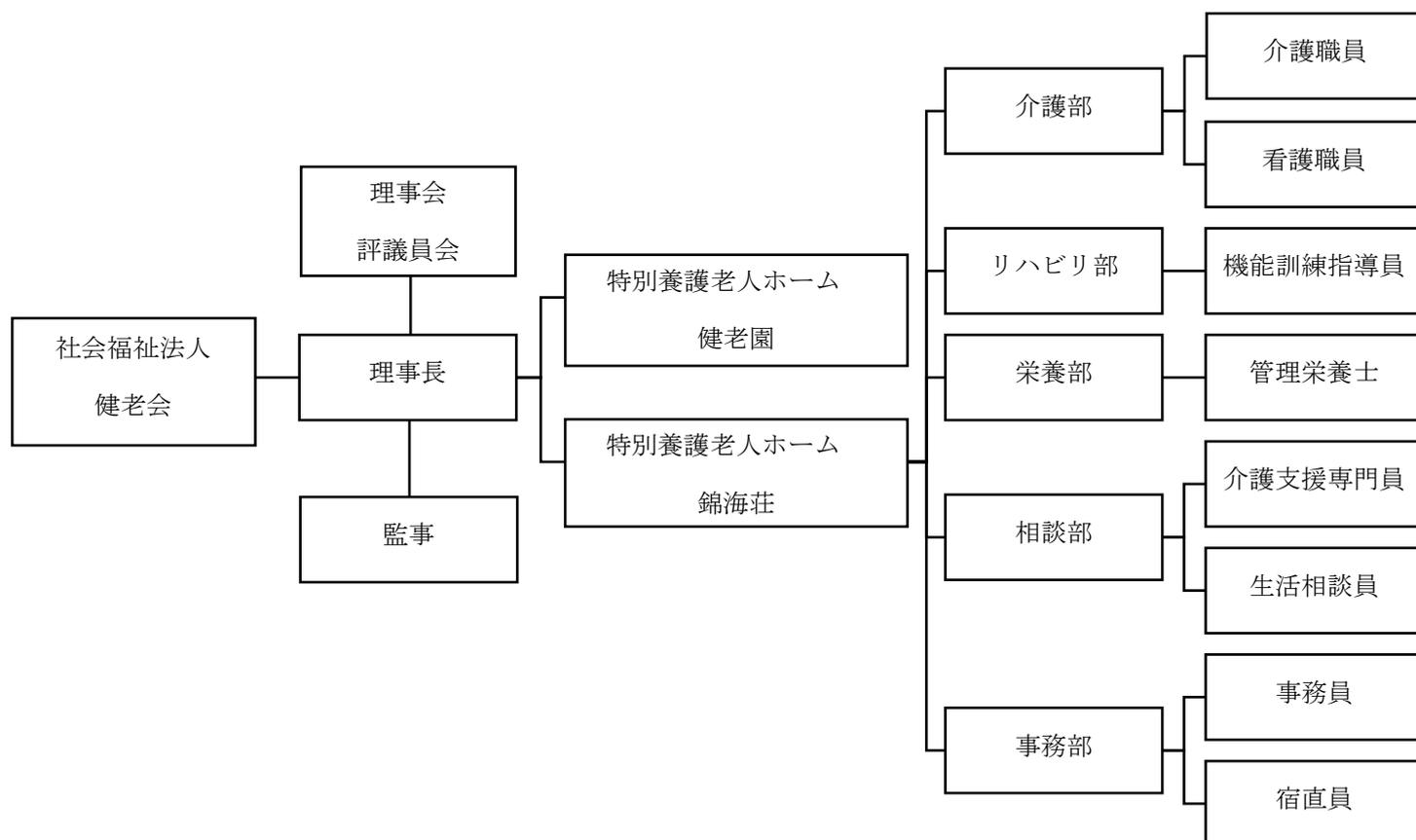
② 主体的かつ根拠に基づいた業務提案による「組織への貢献」

『できない理由』を考えるのではなく、『できる理由』を考えるのが専門職の在り方。受け身ではなく主体者として、根拠に基づいたポジティブな業務提案ができるようになることを目指します。

③ 秩序と思いやりあるチーム育成による「モラルや倫理意識の醸成」

組織のルール、秩序を保ち、スタッフ同士の助け合い、スタッフ一人ひとりの得手不得手をうまくカバーし合う風土をつくります。契約、職業倫理、法令遵守を行動基準とし、ご利用者様が『元気で喜びのある生活を送っていただけること』を一体感で目指します。

4. 組織



5. 各部署の取り組み

5-1) 相談部

稼働率を安定的に維持する。
稼働率で評価。(96%以上/毎月)

5-2) 介護部

ご利用者様の喜びや楽しみ、健康管理など生活の質を向上させるための仕組みづくりをする。
ヒヤリハットや改善提案書、事例提案等の情報提供で評価。

役職者：ヒヤリハットと業務提案書、情報提供で評価。(5件/月)

一般職員：ヒヤリハットで評価。(5件/月)業務提案書や情報提供は加点評価とする。

5-3) リハビリ部

多職種に対して、ご利用者様の身体状態に応じた介助方法、環境整備等を助言する。
ヒヤリハットや業務提案書、事例提案等の情報提供で評価。(5件/月)

5-4) 栄養部

食事の楽しみや健康面、特に便秘に対して食事からのアプローチをするなど、生活の質を向上させるための企画や提案をする。

ヒヤリハットや業務提案書、事例提案等の情報提供で評価。(5件/月)

5-5) 事務部

担当者が業務を専有する仕組みから、スタッフ間で業務を共有する仕組みへシフトする。
接客業務の質を向上させるため、特に電話対応の向上に重点を置く。マニュアル通りの実施で評価。

新たな事務マニュアル作成に向け、業務提案書や情報提供で評価。(5件/月)

※ 業務提案書等は、ご利用者様の『元気で喜びのある生活』に繋がるものか、施設長責任において質的評価を行い、採用件数を評価の対象とする。

6. 行事・クラブ活動

6-1) 行事計画

4月	お花見会	10月	秋祭り
5月	端午の節句	11月	玉津地区文化祭出典
6月	運動会	12月	クリスマス会、餅つき
7月	七夕祭り	1月	新年会
8月	流しそうめん	2月	節分祭、握り寿司パーティ
9月	敬老会	3月	ひな祭り

6-2) クラブ活動：随時実施

書道クラブ	映画鑑賞クラブ
カラオケクラブ	創作クラブ
園芸クラブ	歌の会

7. 令和4年度 各種委員会 年間計画

身体拘束・虐待防止委員会

年間目標 身体拘束、虐待ゼロの継続・知識の向上

役割分担 (委員長) 正躰…司会進行 資料作成等
(副委員長) 山下…職員の知識の向上への取り組み
(他委員) 各部署の意見聴取

年間計画 6月 会議実施 マニュアルの見直し 施設内研修(虐待)の実施
9月 会議実施、
12月 会議実施 施設内研修(虐待)
3月 会議実施 評価と反省 次年度の計画作成

研修委員会

年間目標 施設内研修を通して職員の専門技術・知識の向上を図る

役割分担 (委員長) 槌谷
(副委員長) 正躰 司会進行
(書記) 竹内

年間計画

4月	腰痛、移乗	10月	感染（ノロ）
5月	食中毒	11月	認知症
6月	リスクマネジメント	12月	栄養マネジメント
7月	接遇	1月	リスクマネジメント
8月	排泄（ユニ・チャーム）	2月	看取り
9月	身体拘束、虐待	3月	身体拘束、虐待

リスクマネジメント委員会

年間目標 ヒヤリハットに対する正しい認識の浸透

役割分担
（委員長）槌谷
（副委員長）時岡
（他委員）各部署の意見聴取

年間計画 毎月開催
事後評価～施設サービス計画までの仕組みづくり

サービス向上委員会

年間目標 利用者の整容及び接遇の見直し・強化していく

役割分担
（委員長）朝田
（副委員長）正躰

年間計画
4月 年間計画の再確認・職員身だしなみチェック表の作成
6月 各ユニット整容強化者のピックアップ・改善策の検討
8月 6月でピックアップを行った利用者の整容や接遇についての評価・反省
10月 8月でピックアップを行った利用者の整容や接遇についての評価・反省
12月 施設内研修の議題検討
2月 年間のまとめ・反省・来年度の活動内容の検討

防災委員会

年間目標 全職員が通報装置の取扱いを習得する

役割分担
（委員長）油谷…司会 通報取り扱いの習得の確認
（副委員長）高井…防災訓練の地域・業者の調整
（他職員）松浦…防災に関する意見を職員から聞く

年間計画
4月 会議 通報装置の取り扱い（委員会メンバー）
5月 委員会メンバーより通報装置の指導

- 6月 会議（台風・大雨対策について）
- 7月 委員会メンバーより通報装置の指導
- 8月 会議 防災訓練の確認
- 9月 防災訓練（日中想定）訓練後 反省会
- 10月 会議 BCPについて検討
- 11月 委員会メンバーより通報装置の指導
- 12月 会議 BCPについて検討
- 1月 委員会メンバーより通報装置の指導
- 2月 会議 防災訓練の確認
- 3月 防災訓練（夜間想定）

感染対策委員会

年間目標 感染ゼロを目指す・感染症のアウトブレイクを防ぐ

役割分担 (委員長) 道廣
(書記) 正躰
(他委員) 情報収集

年間計画 3月、6月、9月、12月開催

褥瘡委員会

年間目標 褥瘡者ゼロを目指す

役割分担 (委員長) 道廣
(書記) 正躰

年間計画 3月、6月、9月、12月開催

入所検討委員会

年間目標 急な空床にもスムーズに入所できるよう、予測して事前に行動をする。

役割分担 (委員長) 山下
(副委員長) 正躰
(他委員) 高井

年間計画 毎月開催

広報委員会

年間目標 集客だけでなく、人材確保の手段としても活用できる広報誌を作成する。

役割分担 (委員長) 山下

年間計画 年4回発行

給食委員会

年間目標 ご利用者様の身体状況・嗜好を把握し、特に便秘に対して食事からのアプローチと季節感を味わい、楽しめる食事提供を目指す。

役割分担 (委員長) 松浦

年間計画 毎月開催

排泄委員会

年間目標 ご利用者様に応じた排便コントロールができることを目指す。

役割分担 (委員長) 道廣
(副委員長) 岩井 松浦
(他委員) 各部署の意見聴取

年間計画 毎月開催

8. 年間研修計画

○施設内研修 (担当：研修委員会)

4月	腰痛、移乗	10月	感染（ノロ）
5月	食中毒	11月	認知症
6月	リスクマネジメント	12月	栄養マネジメント
7月	接遇	1月	リスクマネジメント
8月	排泄（ユニ・チャーム）	2月	看取り
9月	身体拘束、虐待	3月	身体拘束、虐待